

年長組 イツツアばらぐみワールド！ ～世界について知ってみよう～

テーマ設定理由

年中時から“イツツアスモールワールド”に関心を向けていた子がいたことから、新年度当初から世界地図や世界に関する絵本、地球儀などを置いておいた。これらがきっかけとなり、世界の言葉や文化、その土地ならではのものへの関心を高められたらと思い、このテーマを設定した。また、“イツツアばらぐみワールド”とクラス名を入れてクラスの合言葉のようにすることで、クラスの一体感にも繋げていった。

活動スケジュール

【1学期】

- (1) 国旗の絵本をみて各国の違いに興味を持ったことから、グループに分かれそれぞれ一カ国ずつ選び、その国の建物や食べものを調べてみる。
- (2) それぞれ調べた物を絵に描いたものや部屋に飾られた国旗で保育室が飾られると、子どもから「スモールワールドにしよう！」という声があがったため、全員で大きな壁面を描いた。
- (3) “本物のアトラクションのようにするには？”と会議を重ね、台車等を使い環境づくりを行う。完成すると他学年を招き、自分たちはキャストとなってスモールワールドの世界を楽しんだ。

部屋には国旗がた～つくさん！



【2学期】

- (1) 「自分の国な国旗をつくるなら？」と疑問を投げかける。その国旗を元に、オリジナルの挨拶や国の特徴も考える。
- (2) (1)のオリジナルの国をベースにしたお話をクラスで作り上げる。衣装も自作し、舞台上で披露し、他学年や保護者に観てもらった。
- (3) 物語をベースにした“イツツアばらぐみワールド”のアトラクションをホールつくることに。1学期よりもレベルアップしたものを作り上げた。

★上記の取り組みと並行して、保育室の壁に大きな世界地図を作成し貼っていた。各国の言葉を調べたり、その国ならではの遊びを楽しんだらその世界地図に貼っていた。

【3学期】

- (1) よりリアルな世界を見て欲しいという思いから、世界旅行を計画。まずは1人一冊パスポートを作成した。
- (2) YouTubeやGoogle Earthを活用し、世界遺産やその国々の街の様子を実際にみってみた。



＼手作りパスポートを作ったよ！／



活動の内容

①絵本や図鑑を参考にしながらたくさんの国旗や一棟ずつグループで描き上げた。部屋が“世界”のイメージに！

壁面も役割分担も自分たちで！
初めてクラスみんなで
作り上げたよ♪

この国旗は
日本と似てるね！

②出来上がった自慢の空間に大満足！
自分たちだけでなく、
「他のみんなにも楽しんで欲しい！」
と招待することにした。

本物の
ディスプレイみたい！

衣装もこだわったっぷり！
自分の国言葉も考えたよ♪

③たくさんの国に触れる中で、“自分の国をつくるなら？”と考えるように。好きなものや本物のものをオマージュしたものなど、オリジナルの国が出来上がった。

④自分たちで考えた国が登場する物語作りがスタート！展開はクラスで会議を重ね、衣装から大道具までみんなで作り上げた。オリジナルだからこそ、子どもたちの中に“主体性”が育つと共に、クラスの一体感にも繋がった。

みんな違って
面白い！

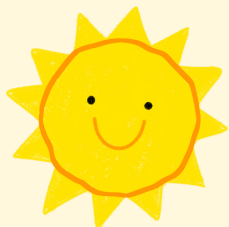
⑤1学期の経験を元に、物語をベースにしたアトラクション作り発展。より広い空間で、再現するにはどんな環境でどんなものを使えば良いかを考えた。

⑥この1年を通して、世界に対する知識を増やしていった子どもたち。そこでYouTubeやGoogleEarthを電子黒板に映し、VRのようにして世界旅行に出発！初めてみる滝や建物に大興奮だったと共に、日本との違いを自然と会話していた。

国に到着したら
スタンプを押すよ！

振り返り・保育者の気づき

かなり大きなテーマではあったが、“世界”という大きな枠の中でイメージしたり、本物に触れたり、遊びにしたりとさまざまな方向な展開したことで、子どもたちの中に自然と浸透していった。生活の中にも結びつくようになり、自発的に気になった国の言葉を調べたり、国旗を覚えたりしていた。発展の方向性を決めすぎず、まずは子どもたちが何に対して楽しさを感じているのかを見極めることの大切さを感じた。1年という長い期間で取り組んできたことで、“クラスのらしさ”にも繋がっていったと思う。このスクワクを通して、知る楽しさや違いを楽しむ気持ちが育ったことだろう。この取り組みがきっかけの一つとなり、これからも“なぜ？”を見つける視点と思考を伸ばして欲しい。



年中組

「もったいないばあさん大作戦をしよう」

～子どもとSDGS～

テーマ設定理由

製作をすることが大好きな年中組。廃材を使った製作を楽しむ姿が見られる一方で、紙やセロテープなどの使い方が雑な子が目立つ。そこで、SDGSを大きなテーマに掲げて、様々な角度から身近なもの（紙、食べ物、生き物、植物、人と人との繋がり）を大切に思う気持ちを育みながら、子どもたちの意識を高め、その中で聞こえてくる声や提案を拾い上げていまながら進めた

活動スケジュール

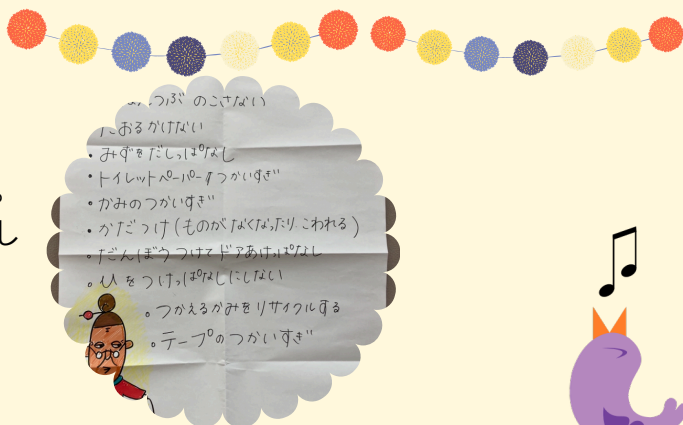
1月 「ものを大切にする」ということについて考える。
一人一人どんなことに気をつけて過ごせるか話し合い、意識できるようにする。

「食べ物を残さないようにしたらいいよね」「苦手なものあったけど食べたよ」などの声があがった。園に元々あるみそスープデーに向けて、味噌汁を捨てた時に与える影響についてペープサートを見ながら考える



「ものを大切にするためにできること」を話し合う

絵本「もったいないばあさん」を読んだり、「もったいないばあさん音頭」を踊ったりしながら、日常の中で「もったいないばあさん」に親しみながら過ごす。



2月 絵本「なぜなにSDGS」の絵本を見た子どもたちが、捨てるはずの野菜の切れ端を再生させることに興味を持つ。みんなで育ててみることにした。
みそスープの日には、再生した豆苗を収穫して、みそスープに入れていただく。

3月 「リサイクル」について考える。
話し合いの中で、使わなくなった廃材を利用しておもちゃを作ることになった。
どんなおもちゃが作れるか話し合った。



廃材が色々なおもちゃに大変身



育てた野菜の切れ端を
みそスープに入れていただきます



野菜の切れ端を育てよう



活動の内容

本当は捨ててしまう部分なんだよね！



ほら！
やっぱり伸びてきた！

④野菜の切れ端(ニンジン、ダイコン、キャベツ、サツマイモ、豆苗など)を水につけておいたらどうなるか、みんなで実験をした。

⑥一方で、リサイクルについても話し合った。日頃親しんでいる製作も立派なリサイクル！
どんなものが作れるか話し合い、おもちゃを作って遊ぶ日々。

この日はパーティクラッカーを作ります。



トイレットペーパーの芯でクラッカーを作ってパーティしようよ



汐見穂幸作

桜の花びらいたら
素敵な桜のクラッカー
になるよ

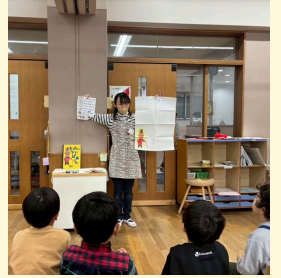


作ったクラッカーで
みんなでパーティ！

リサイクルって、
いらぬものを
宝物に変える
魔法みたい！



①もったいないばあさんから手紙と絵本が届き、みんなで「もったいない大作戦」をすることに。「もったいないことはどんなこと？」「気をつけられることはどんなこと？」について意見を出し合った。



②もったいない場面にはいつも「もったいないばあさん」が現れ、子どもたちの日常の中にもったいないばあさんが浸透していった。



真珠まりこ作

みんなで収穫



「食べられるかな？」
「炒めたらいいんじゃない？」

③日頃からみそスープデーという日がある。ペープサートを通し、お味噌汁一杯残すと綺麗な水に戻すためにはお風呂の浴槽5杯分の水が必要ということを知り、残さず食べようとする気持ちが強くなっていった。



⑤再生した豆苗をみそスープに入れていただくことに。



振り返り・保育者の気づき

保育者の投げかけから始まった「もったいない大作戦」だったが、子どもたちが自分で考え、行動できるようになっていった。また、「服は着れなくなってもリサイクルできるんだよ」「これももったいないよ、もったいないばあさん来ちゃうよ」などと会話の中でも聞こえてくるようになった。活動はひと段落してしまうが、これで終わりではなく、これからも一人一人が様々な場面で意識して行動して欲しい。今回のすくわくを通して、子どもたちが主体的に声を掛け合いながら共に良い関係性を築いていく様子を目の当たりにできた。保育者の環境設定や投げかけ、種まき、の大切さを改めて考えさせられた。